

# 平成28年度ごみ処理実施計画における 具体的施策の実施状況について

H28第4回審議会  
(H29/3/24) 資料1

- 基本方針 1 市民・事業者・市の協働による取組の推進 <発生抑制> …シート 5
- 基本方針 2 分別の徹底と再資源化の促進 <再使用・再生利用> ……シート 6
- 基本方針 3 環境に配慮した適正な廃棄物処理の推進 <適正処分> …シート 7
- 基本方針 4 計画実現に向けた体制・仕組みづくり ……シート 8

・平成28年度実施計画に対する達成状況は、A～Eの5段階評価とする

- A：今年度の計画に対して概ね達成したもの
- B：今年度の計画に対して概ね7割進捗したもの
- C：今年度の計画に対して概ね3割から7割未満まで進捗したもの
- D：今年度の計画に対して概ね3割未満まで進捗したもの、または着手したもの
- E：実施していないもの、または未着手のもの

## 1 平成28年度ごみ処理実施計画 重点項目

「長野市一般廃棄物処理基本計画（H23～28年度）」で定めている4つの基本方針、14の基本施策、53の具体的施策に基づき、目標達成のための具体的施策を展開しました。

平成28年度ごみ処理実施計画では、引続きごみの減量と再資源化の推進を図るため、

- ①ごみの「発生抑制」に向けた取組として、家庭及び事業所から発生する生ごみ減量の推進
- ②「分別の徹底と再資源化の促進」として、使用済小型家電の回収ルート構築
- ③「環境に配慮した適正な廃棄物処理の促進」として、高齢者等に対する収集体制の検討
- ④「計画実現に向けた体制・仕組みづくり」として、ごみ処理手数料の検証

以上の方針に基づき、次の17項目を重点項目としました。

## 平成28年度重点項目 17項目

## 基本方針1 市民・事業者・市の協働による取組の推進 &lt;発生抑制&gt;

基本施策	H27 重点	具体的施策 ( )内は「長野市一般廃棄物処理基本計画」掲載ページ	
1-1 環境教育・普及啓発の充実	○	1.1.1	ごみ通信・副読本等を活用した環境教育・学習の推進(P56)
	○	1.1.3	地域・団体等との連携による普及啓発の推進(P56)
1-2 家庭ごみの発生抑制の推進	○	1.2.2	生ごみの発生抑制と減量化の推進(P57)
		1.2.4	住民自治協議会・ながの環境パートナーシップ会議等との連携強化(P57)
1-3 事業ごみの発生抑制の推進	○	1.3.6	多量排出事業所以外の事業所が排出する事業ごみ削減の推進(P58)
	○	1.3.7	食べ切り運動等の推進(P58)
	○	1.3.8	イベントごみの発生抑制の推進(P58)

## 基本方針2 分別の徹底と再資源化の促進 <再使用・再生利用>

2-1 分別の徹底とわかりやすい啓発活動の推進		2.1.1	分別の徹底に向けたわかりやすい啓発活動の推進(P62)
	○	2.1.3	住民自治協議会等との連携強化(P62)
	○	2.1.6	搬入時の分別指導の徹底(P62)
2-2 再資源化の推進		2.2.5	新たな資源化ルートの検討(P63)
	○	2.2.6	使用済小型家電回収の実施(P63)

## 基本方針3 環境に配慮した適正な廃棄物処理の促進 <適正処分>

3-1 適正な収集運搬体制の構築	○	3.1.2	高齢者等に対する収集体制の検証(P66)
3-2 ごみ処理施設の整備	○	3.2.3	広域連合ごみ処理施設の整備促進(P67)
	○	3.2.4	広域ごみ焼却施設建設に伴う清掃センターの整備(P67)
3-3 災害廃棄物対策	○	3.4.1	災害廃棄物処理体制の確立(P68)

## 基本方針4 計画実現に向けた体制・仕組みづくり

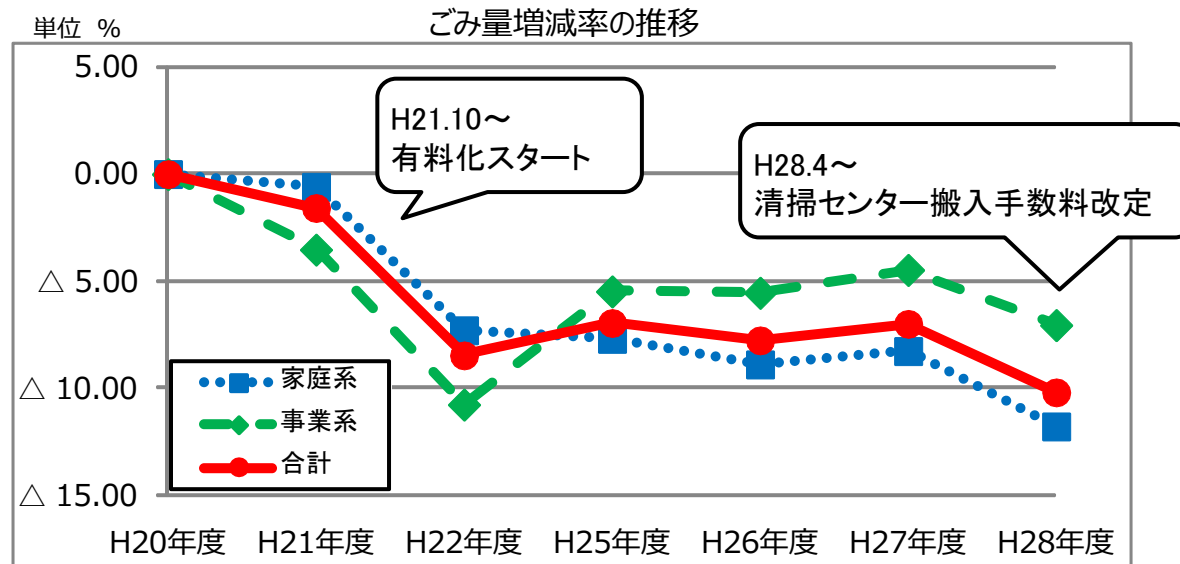
4-2 効率的な廃棄物行政の推進		4.1.2	標準的な評価項目(指標)によるごみ処理の評価(P70)
------------------	--	-------	-----------------------------

## 2 ごみ量の推移

## 4～2月の同時期比較

単位:トン

年 度	期 間	家 庭 系	事 業 系	合 計	家庭系 一人当たり (g/人・日)	家庭系 一世帯当たり (g/世帯・日)	【H28目標値】 一人当たり (g/人・日)
①平成28年度	H28.4～H29.2	69,470	37,118	106,588	553	1,374	547
②平成27年度	H27.4～H28.2	72,237	38,146	110,383	573	1,421	
③平成26年度	H26.4～H27.2	71,746	37,720	109,465	569	1,428	
④平成25年度	H25.4～H26.2	72,687	37,746	110,433	574	1,456	
⑤平成22年度	H22.4～H23.2	73,000	35,636	108,636	573	1,492	
⑥平成21年度	H21.4～H22.2	78,272	38,524	116,796	610	1,574	
⑦平成20年度	H20.4～H21.2	78,740	39,931	118,671	613	1,595	
増減率	前年(H27)比(①/②)	-3.8%	-2.7%	-3.4%	-3.5%	-3.3%	
	対H26年度比(①/③)	-3.2%	-1.6%	-2.6%	-2.8%	-3.8%	
	対H25年度比(①/④)	-4.4%	-1.7%	-3.5%	-3.7%	-5.6%	
	対H22年度比(①/⑤)	-4.8%	4.2%	-1.9%	-3.5%	-7.9%	
	対H21年度比(①/⑥)	-11.2%	-3.6%	-8.7%	-9.3%	-12.7%	
	基準年(H20)比(①/⑦)	-11.8%	-7.0%	-10.2%	-9.8%	-13.9%	



### 3 平成28年度ごみ処理実施計画 達成状況

A評価 …… 40項目      B評価 …… 8項目      C評価 …… 1項目  
 D評価 …… なし      E評価 …… なし      実施済 …… 2項目

### 4 基本施策ごとの評価

#### 基本方針1 市民・事業者・市の協働による取組の推進 <発生抑制>

基本施策	実施状況及び評価
1 環境教育・普及啓発の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児に対しごみの分別やリサイクルについて、学習した。 (開催回数5回、参加者数259人)(1.1.1)</li> <li>・清掃センターの見学団体数が目標値より上回った。 (見学団体数87団体)(1.1.2)</li> <li>・発生抑制のための出前講座や住民説明会が目標値より上回った。 (開催回数52回、参加者数延べ1,361人)(1.1.3)</li> </ul>
2 家庭ごみの発生抑制の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみの発生抑制、特に食品ロス削減に関する特集記事をゴミ通信に掲載した。(1.2.1)</li> <li>・マイバッグ持参率調査を実施した。(1.2.3)</li> <li>・生ごみ自家処理実践講座を大豆島地区の公民館で開催した。 (7回 参加者数154人)(1.2.4)</li> <li>・フードドライブで集めた食料品等を、フードバンク信州や子ども食堂へ提供した。(1.2.4)(参加者数 387人、提供数 4,823個、提供重量 1,236kg)</li> </ul>

3 事業ごみの発生抑制の推進	・第三地区の9事業所及び中小規模203事業所に対し訪問調査を実施した。また、その他814事業所にはポスティングを実施した。機密文書や食品廃棄物の再資源化を含めた、ごみの減量や分別の徹底を依頼した。(1.3.6)
4 市のごみの発生抑制の推進	・職場環境美化推進委員による年2回の実施状況と報告を行った。H26年度比で、総排出量は減少の見込みだが、可燃ごみは増加した。(一般廃棄物排出量 214.6t、可燃ごみ排出量 22.8t)(1.4.1)

## 基本方針2 分別の徹底と再資源化の促進 <再使用・再生利用>

基本施策	実施状況及び評価
1 分別の徹底とわかりやすい啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催回数が目標値を大幅に上回った。(開催回数52回、参加者数延べ1,361人)(2.1.1)</li> <li>・ゴミ通信に分別クイズを掲載。啓発を図った。(2.1.1)</li> <li>・住民自治協議会役員対象の説明会の開催目標数が概ね達成できた。(開催回数31回)(2.1.3)</li> </ul>
2 再資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団資源回収量が目標値を下回った。特に紙類の減少が顕著となっている。布類については微増した。(資源回収量 10,249t、うち布類 111t(4～1月計))(2.2.1)</li> <li>・スプリングマットレス・ソファの新たな処理ルートを構築した。(2.2.5)</li> </ul>
3 リサイクル啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ながの環境フェアを開催した。「限りある資源を生かし再利用」をテーマとし、リサイクルについて啓発した。(2.3.2)</li> </ul>

### 基本方針3 環境に配慮した適正な廃棄物処理の促進 <適正処分>

基本施策	実施状況及び評価
1 適正な収集運搬体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸別収集の実施に向けて、地域活動団体からヒアリングし、検討したが、要件等の課題解決に至らなかった。(3.1.2)</li> <li>・ごみ集積所の環境美化支援として、カラスよけネットを貸与した。(3.1.5)</li> </ul>
2 ごみ処理施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年5月に新焼却施設の建設工事を開始した。(3.2.3)</li> <li>・新焼却施設の進捗状況との調整を図りながら清掃センター構内整備工事を実施した。(3.2.4)</li> </ul>
3 不法投棄対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄パトロール及び回収を行った。(3.3.1)</li> </ul>
4 災害廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会に参画し、広域連携計画に基づき、H29年1月に広域連携情報伝達訓練に参加した。(3.4.1)</li> </ul>

## 基本方針4 計画実現に向けた体制・仕組みづくり

基本施策	実施状況及び評価
1 PDCAサイクルによる計画(施策)の進行管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の進捗状況やごみ量等目標値の達成状況について評価した。(4.4.1)</li> <li>・まちづくりアンケートで「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである」の順位が前年度比上昇した。(6/44位→3/44位)(4.1.3)</li> </ul>
2 効率的な廃棄物行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理コストの算出・分析を行った。市民一人当たりの経費は増加傾向にある。(H26 8,948円/人→H27 9,084円/人)(4.2.3)</li> </ul>
3 地球温暖化防止等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理に伴う温室効果ガスの人口一人一日当たりの排出量を算出した。(0.196kg/-CO2/人・日)(4.3.1)</li> </ul>